

## 瑞浪工場「GOOD SPEED」

# 多能工化への挑戦と環境負荷軽減への取り組み

## 3ラインの設備導入を現人員で対応



横田守彦  
執行役員・瑞浪工場工場長

新日本印刷(株) (細井俊男社長) は今年創業50周年を迎える。この節目の年を記念すべき年にすべく全社一丸で高次元での生産確立に取り組んでいる。生産拠点である瑞浪工場では、オペレータの多能工化、環境負荷の低減に取り組んでいる。

生産工場の一貫生産体制は、顧客情報の保守、品質管理の問題、時間短縮などメリットも大きい。しかし、受注産業である印刷業にとっては、工程が増えるほど、その工程間のバランスが難しく、無線の製本ラインがあっても中綴じの仕事は協力会社に依頼することとなり、機械にも人にも無駄ができる。無駄をなくすには機械と人が効率よく動くことである。そのための多能工化である。

瑞浪工場に横田守彦工場長をお訪ねし、同社の取り組みをお聞きした。

## 無駄を排除し利益が残せる体質づくり

### ■「いらっしゃいませ、の音が響く

岐阜県瑞浪市山田町小洞にある瑞浪工場「GOOD SPEED」は、同社のプレス以降の工程が集約されている生産拠点である。工場を訪ねると、ゆったりとしたスペースの中に、B2輪転機、A1輪転機と製本ラインが稼働する「GS1」、枚葉機の稼働する「GS2」の2棟の工場が並んでいる。中に入っても驚かされるのは、工場完成時から掃除の行き届いた綺麗な作業環境、余裕を持たせた機械設備の配置、そして、何よりも徹底されているのが挨拶である。相手の顔を見て「いらっしゃいませ」の音が響く。

「社会人として挨拶は当然です。工場に見える方は皆さんお客様です。もし私がどこかの工場を訪問したとき、あまり活気のない会社だなと感じるところに、仕事を依頼しようとは思いません。ですから気持ちのいい挨拶をして、お客様に気持ちよく、安心して仕事をご依頼いただく。我々もバックグラウンド

での営業です。そして、そういった姿勢を通常業務にも反映させて欲しいと思っています」と横田工場長。

### ■多能工化への挑戦

同社では、2014年に瑞浪工場へ生産設備を集約する時、本社にあった菊全機2台と半裁機1台、軽オフ1台をハイブリッドUV乾燥装置、ニスコーター付きの菊全判5色オフセット印刷機「リスロンG40 (GL540+コーター+H-UV)」に入れ替えた。そして、今回、GL540の機能をさらに有効活用するためにH-UV乾燥装置搭載A全判寸延び4色オフセット印刷機「リスロンA37 (LA437+H-UV)」を導入した。

「瑞浪に印刷機を集約するとき、本社工場にあった4台の印刷機よりもH-UV付きのGL540の方が、生産能力が大きいとの事に入れ替えました。GL540は、疑似エンボスなどの表面加工でも大変好評をいただ



GOOD SPEEDの外観 (左が輪転機と製本ラインが稼働するGS1棟、右がオフセット枚葉機が稼働するGS2棟)。環境に配慮したソーラー発電システムを導入。



ひときわ目立つシンボルトワー

いていますが、こうした印刷は通常の印刷と比較すると準備時間などでどうしても生産効率が下がってしまいます。

今回導入したLA437はA判サイズですが菊全サイズまで対応できます。今はまだ立ち上げたばかりですが、将来的にはLA437を主力生産機にして、GL540はLA437に入らないサイズのものや、表面加工の仕事、通しの多い仕事を中心に進めたいと考えています。また、今後の挑戦ということでは、GL540のUVの速乾性を活かして紙以外の印刷へも挑戦したいと思っています」。

このLA437の増設に対しての増員は行なわれていない。輪転機の2人の機長が枚葉機の研修を受け、LA437を担当している。

「今まで2台の輪転機を、5人、5人の10人体制で昼夜勤をしていましたが、LA437を入れるにあたり、輪転の機長の2人が枚葉トレーニングを受け、LA437に就きました。その2人が昼夜で回しています。LA437もGL540も機長1人で、サブが両方を手伝い印刷機2台を3名ずつで昼夜勤稼働しています。輪転機も、今までのサブ担当者が、輪転のトレーニングを受け、レベルアップをして機長になっていますが、順調に稼働しています。もちろん繁忙期には多少工夫が必要になります。こうしてレベルアップすることで、多能工が具現化されます」。

瑞浪工場には、無線綴じ製本ラインがあったが、今回LA437と同時に中綴じ製本ラインも導入された。その理由を次のように語る。

「従来、製本は無線のラインしかなかったので、無

線仕事が薄ければ、中綴じ仕事は有っても協力会社様へ出ていき、社員は掃除をしていることがありました。中綴じのラインを増設し、無線のオペレータが兼務することで人の無駄が無くなりました。今は、担当する機械が空けば、印刷課の人員が製本の鞍乗せ、仕分け、梱包を、製本課の人員が印刷の紙積みなどできる事を手伝います。昔は製版を含め印刷の仕事は職人仕事で他の部署のものが手を出すことはできませんでしたが今は違います。瑞浪工場を一つの部門と考え、臨機応変に動く必要があります。1人ひとりが多能工化してやれることを増やし、社内生産効率をアップし、その中で利益を生み出していくということが必要だと思っています」。

この多能工化の取り組みは、環境負荷軽減のために導入されたロール紙のシートカット設備にも活かされている。シートカット装置を主に担当しているのは、用紙の倉庫納入を担当していたパート社員である。用紙の管理責任者がセットし、稼働に入ったらパート社員に引き継がれる。



コントロールパネル



A横全判オフセット輪転機「SYSTEM38S」



B縦半裁オフセット輪転機「SYSTEM35S」



ハイブリッドUVオフセット枚葉機「LTHRONE G40」(菊全5色+コートー搭載)



A全判寸延び4色オフセット印刷機「LTHRONE A37」(H-UV搭載)

「パートの方も多能工になってもらう必要があります。できる事を拡げて頂く。実際に折りもすれば、鞍乗せもする、梱包もするという方もいます」。

3月に枚葉オフセット印刷機リスロンA37、中綴じライン、ロール紙のシートカット装置が導入されたが、1名の増員もなしに一人ひとりが多能工化、レベルアップを図ることで順調に立ち上げている。

### ■50周年、その先を見据えた挑戦

高度成長時代は、機械設備をどんどん入れ、人もどんどん増やし、生産量が上がれば利益が出ていた。しかし、印刷総出荷高が最盛期の約6割まで下がった今日では、売上高を上げることは必要であるが、社内にある無駄を如何に少なくして利益を出していくかが最重要課題である。

「社員一人ひとりが多能工でいかに効率よく動くか。そういったところに会社の利益が生まれます。あと、シートカット装置も余った紙を利用することで、環境的にも、コスト面でもメリットをもたらします。無駄を極力排除して、仮に売り上げがあまり上がらなくてもしっかりと利益が残せるような体質に

なる必要があります。当社代表の想いとしては、“企業である限り利益は出さなくてはいけない。利益を出して、社員の暮らしを安定させ、雇用も安定させて、税金を納める”という事です。そのためには、多能工化による人の無駄をなくすことが重要だと思います。製本ラインでいうと今までは無線の仕事がなければ、人が遊ぶし、仕事、利益が社外に出ていました。それを中綴じラインを入れることで、内製化ができ人も有効に活用できます」。

そして、現状に満足することなく、印刷業を製造業ではなく、サービス業と考え、“顧客満足度”を追



無線綴じ製本ライン

求する。お客様は何を望んでいるか工場の人も常に考える習慣が必要である。

「毎日の作業は全く同じではないですが、流れはほぼ決まっています。その流れが当たり前になって、色々なことに気付けなくなります。それが一番怖いです。常に疑いながらやっていたら、ここはもうちょっと改善できるのではないかとといったことにも気づけます。

例えば、広い敷地、広い工場を持っていると、社員はそれが普通になります。スペースがあるからといって、刷り本をあちらこちらに置く。すると繁忙期になると狭い、場所がないと感じます。しかし、東京都内のビルの中の印刷会社様もあるわけで、ビルの中で機械も入れているとかなりの工夫をされていると思います。そうしたことも改善意識が無いとできません。

多能工化し人・時間の無駄をなくす。今の環境をあたりまえと考えず、常にそれ以上の方法はないか考える。そういったことでメインの柱に肉をつけて太くし、贅肉はとって筋肉質にする。これが当社代表の求めていることです」。

遠隔地にある工場には、どうしてもその工場の風土ができて、毎日経営陣と顔を合わす本社とは違って来る。また、営業部の受注活動の苦労や撮影・制作・製版といった他部署の活動も目にする事はない。横田工場長は、工場も本社も常に同じベクトルで考え、営業を後方支援し、また製造利益を追求する事が工場の大きな役割であると強調した。



中綴じ製本ライン



第7回ポスターグランプリ作品募集  
テーマは「VS」

募集期間：8月22日～9月3日

愛知、岐阜、三重、石川、富山の各県印刷工業組合及び愛知県印刷協同組合では、第7回ポスターグランプリコンペティションを実施する。

#### 【作品規定】

□対象/ポスター  
□テーマ/「VS」(ビジュアル、キャッチコピーを含む作品を募集)

□応募期間/平成28年8月22日(月)～平成28年9月3日(土)正午必着。

□応募資格/愛知、岐阜、三重、石川、富山各県在住または同5県内の会社、大学(大学院、短期大学を含む)、専門学校、高等学校(高等専門学校を含む)に在籍している個人。

□応募部門/一般の部(プロ・アマ不問)、大学生・専門学校生の部、高校生の部。

□応募作品/未発表の作品1人1点、印刷可能なものに限る。CG又は手描きで色彩表現は自由。

□サイズ/一般の部、大学生・専門学校生の部：B1判、高校生の部：B2判、いずれも縦型、発泡パネル貼仕立て(発泡パネルの厚さは15mm以内)。

□出品料/無料。

□提出/応募用紙に勤務先名または所属学校名、氏名、作品のコンセプト等、必要事項を記入し、作品裏面の上部中央に貼付して提出する。

□詳細は/愛知県印刷工業組合内ポスターグランプリ係 〒461-0001 名古屋市東区泉1-20-12メディアージュ愛知

TEL052-962-5771 FAX052-951-0569

E-mail Jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

http://www.ai-in-ko.or.jp